

リユースの促進、食品ロス削減、サステナブル・ファッション、使用済紙おむつ、プラスチック等の資源循環等による循環型社会の実現に向けた支援



【令和8年度要求額 1,887百万円（862百万円）】

環境省

食品ロス削減、サステナブル・ファッション、使用済紙おむつ、プラスチック等の資源循環、リユースの促進等による循環型社会の実現に向けた支援を行います。

1. 事業目的

- ①各種リサイクル制度の特性を活かしつつ、「都市鉱山」等の我が国の未利用資源の有効活用の最大化と施策展開の効率化を図る。
- ②プラスチックの資源循環を総合的に推進する。
- ③食品廃棄物等の発生抑制と食品循環資源の再生利用等の地域実装を支援する。
- ④循環型ファッションや廃棄前段階において消費者が利用しやすくなるようなリユース等の取組の促進を図る。

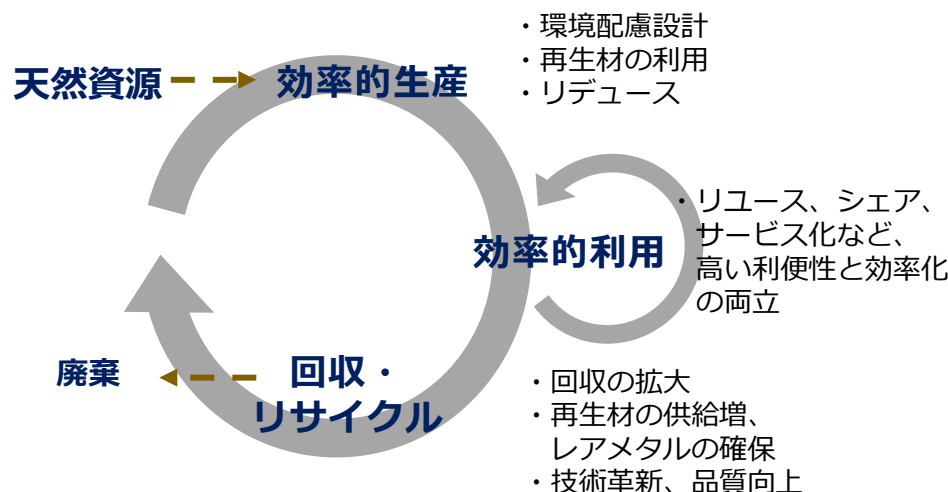
2. 事業内容

- ①リサイクルシステム統合強化による循環資源利用高度化促進事業
 - ・各種リサイクル制度の特徴を生かした取組及びリサイクルプロセスの横断的高度化・効率化
- ②プラスチック資源循環等推進事業
 - ・再生プラスチックの動静脈連携事業
 - ・プラスチック資源循環の促進に係る先進的実装支援事業
 - ・プラスチック資源循環に係る調査及びプラスチック資源循環法等の課題検討
 - ・容器包装リサイクル推進事業
- ③食品ロス削減及び食品廃棄物等の3R推進事業費
 - ・地域力を活かした食品ロス削減等の対策強化、消費者等の行動変容の促進
 - ・食品リサイクル法に基づく安全・安心な3Rの推進
- ④使用済み製品等のリユース及びサステナブル・ファッション促進事業
 - ・リユース品の利用促進のための自治体や事業者等によるモデル事業の実施
 - ・自治体及び事業者の連携方策を始めとしたリユース促進方策の検討
 - ・循環型ファッションの推進方策に関する調査検討

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体
- 実施期間 平成13年度～

4. 事業イメージ





「都市鉱山」をはじめ我が国の未利用資源の有効利用の最大化と施策展開の効率化を図ります。

1. 事業目的

各種リサイクル制度（家電・建設・自動車・小型家電等）の特性を活かしつつ、横断的に効率化・高付加価値化できる部分は共通の取組を進めることにより、「都市鉱山」をはじめとする我が国の未利用資源の有効利用の最大化と施策展開の効率化を図る。

2. 事業内容

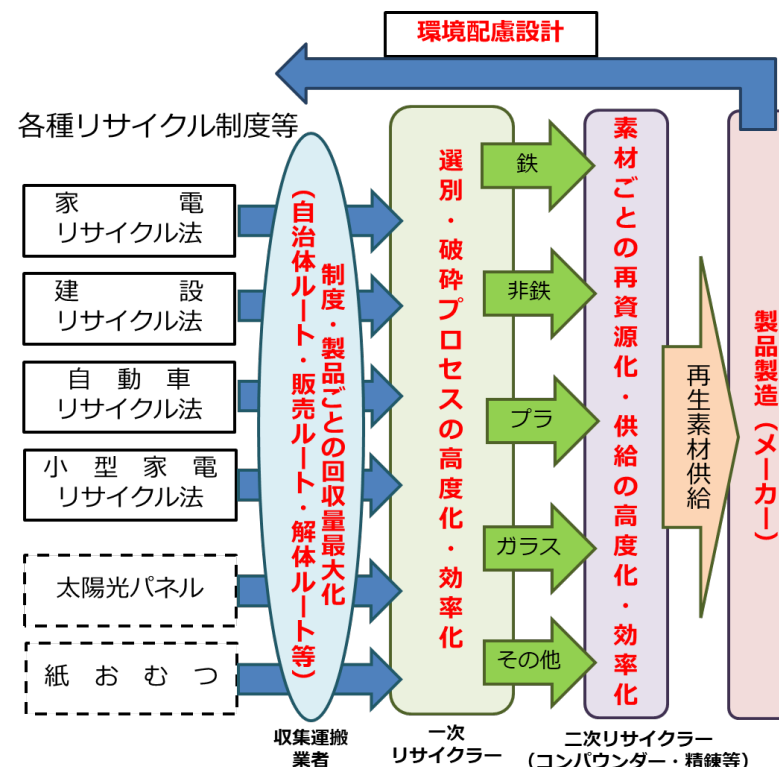
○各種リサイクル制度の特性を活かした取組及びリサイクルプロセスの横断的高度化・効率化

- ・家電／小型家電等、自治体／小売／建設現場における回収量最大化とルート開拓、違法な廃棄物回収業者対策
- ・建設・解体工事からの廃プラ等に係る調査・検討
- ・自動車リサイクルにおけるCN対応3Rの推進・質向上に向けた調査・検討
- ・太陽光発電設備等の大量廃棄に備えた、制度的対応を含めた必要な調査・検討
- ・紙おむつリサイクルの普及に向けた自治体への伴走支援、調査・検討
- ・素材・製品に着目した資源循環促進に向けた調査・検討

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体
- 実施期間 平成19年度～令和8年度（予定）

4. 事業イメージ





プラスチックの資源循環を総合的に推進します。

1. 事業目的

- ・プラスチック資源循環の促進に係る社会実装支援
- ・プラスチック資源循環に係る調査・検討及びプラスチック資源循環法等の課題検討
- ・自治体、事業者、消費者等の関係主体に向けたプラスチック資源循環に係る普及啓発

2. 事業内容

1. プラスチック資源循環推進事業

- (1) 再生プラスチックの動静脈連携事業
 - ・革新的動静脈連携実証事業
 - ・動静脈連携プラットフォームでのマッチング・調査検討
- (2) プラスチック資源循環の促進に係る先進的社會実装支援事業
 - ・プラスチック資源循環に資する社会実装一步手前の取組に対して、自治体・事業者等による実証事業を支援する。
- (3) プラスチック資源循環に係る調査及びプラスチック資源循環法等の課題検討
 - ・プラスチック資源循環法の施行状況及びプラスチック資源循環戦略の進捗の調査・把握等を行うとともに、再生材の利用拡大へ向けた調査・検討を行う。

2. 容器包装リサイクル推進事業

- ・容器包装廃棄物排出実態等調査を継続的に実施し、課題分析を行う。

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体
- 実施期間 平成18年度～令和17年度（予定）

4. 事業イメージ



食品ロス削減及び食品廃棄物等の3R推進事業費



食品廃棄物等の発生抑制と食品循環資源の再生利用等の地域実装を支援します。

1. 事業目的

- ① 現行の食品ロス削減目標（2030年までに2000年比半減）の早期達成を目指し、自治体における対策や計画策定等の支援等を通して、地域力を活かした対策を強化する。
- ② 自治体や食品関連事業者等の関係主体と連携し、家庭系食品ロスの発生要因に応じた対策の地域実装・効果検証と横展開を通して、消費者等の行動変容を促進する。
- ③ 登録再生利用事業者等への指導等を通して、特に小売・外食の再生利用等実施率の向上等を図る。

2. 事業内容

1. 地域力を活かした食品ロス削減等の対策強化

- 自治体による食品ロス削減推進計画策定と実効性向上の支援
- 自治体における食品ロス削減の取組状況の開示の充実等
- 自治体における食品ロス量実態把握・発生要因の分析・調査支援

2. 消費者等の行動変容の促進

- 家庭系食品ロス削減に関する取組の地域実装支援と効果検証
- mottECO導入拡大に向けた伴走支援
- 食品ロスポータルサイトの拡充

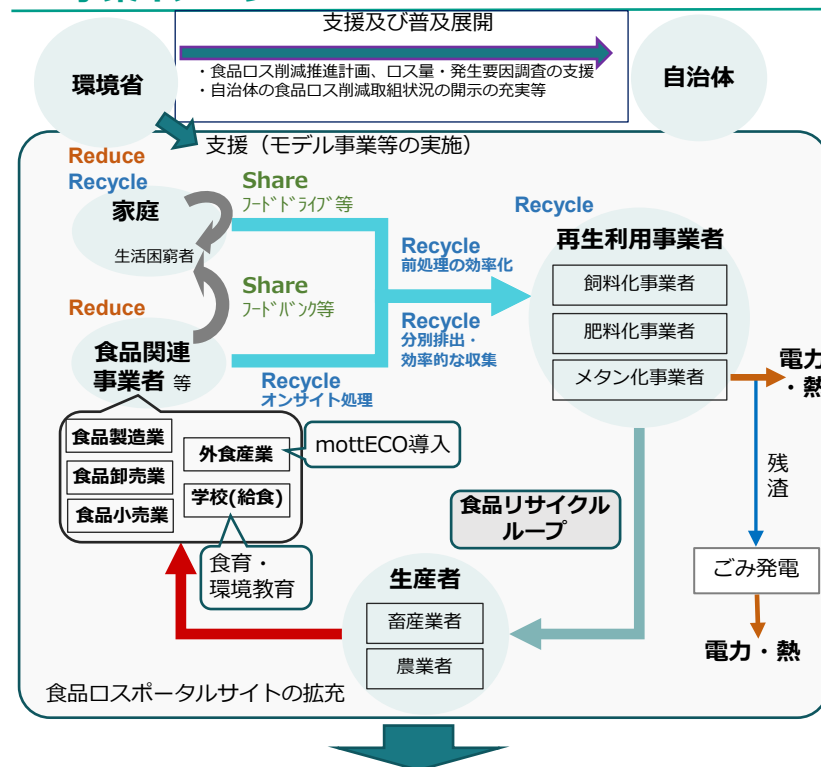
3. 食品リサイクル法に基づく安全・安心な3Rの推進

- 効率的な食品リサイクル等に関する調査・検討
- 食品関連事業者、登録再生利用事業者等への指導
- 食品循環資源の再生利用等実施率向上に向けた支援と効果検証

3. 事業スキーム

- | | |
|-------|----------|
| ■事業形態 | 請負事業 |
| ■請負先 | 民間事業者・団体 |
| ■実施期間 | 平成19年度～ |

4. 事業イメージ



食品ロス半減目標の達成と再生利用等実施率の向上



適正なリユースの促進や衣類の排出ルートが多様化に向け、自治体や事業者が連携した取組を支援します。

1. 事業目的

① ② リユース促進に関するロードマップ（令和7年度策定予定）を踏まえ、リユースに取り組む事業者・自治体等の支援や適正なリユース促進に向けた方策検討等を通じて、新たなビジネスモデル創出や適正なリユース市場の環境整備等に取り組む。

2. 事業内容

③ 特に環境負荷が高い産業とされる衣類については、循環型ファッションを推進するための、消費者に対して行動変容を促すための情報発信等の取組を行う。

4. 事業イメージ

①. 自治体や事業者等によるモデル事業の実施

- ・新たな売り方や付加価値をつけるような形で、リユースのビジネスや、リユースに関連した製品の長期使用を促進する取組をモデル事業として支援
- ・衣類については、事業性を確保し回収後の資源活用も見据えた取組をモデル事業として支援

②. 自治体及び事業者の連携方策を始めとしたリユース促進方策の検討

- ・優良リユース事業者を後押しする支援策の調査検討
- ・自治体及び事業者が連携したリユースに関する取組の調査及び情報発信
- ・消費者によるリユース取組の強化に向けた情報発信事業の実施等
- ・適正なリユースに向け、違法な廃棄物回収業者対策のためのセミナーを開催

③. 循環型ファッションの推進方策に関する調査検討

- ・排出量の把握及びトレーサビリティに関する調査
- ・衣料品業者の実態や、衣類の高度な選別・リサイクルに関する技術開発等の事例収集
- ・サステナブル製品等の効果的なラベリングの具体的枠組み作り 等

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体
- 実施期間 平成13年度～

